

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境博覧会の開催			20年度予算コード	3	整理番号	509	枝番号				
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	230101	昨年度 整理番号	654							
係名	環境活動担当		連絡先 電話番号	3398-3195									
上位施策名		No	18	環境配慮行動の推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	8
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区21世紀ビジョン (2) 環境基本計画 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	高井戸地域区民センターを会場に毎年10月に開催。区民、環境団体、企業、行政が協働して環境への理解を含め、日常生活や活動に結びつく多彩な企画からなるイベントとして開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境配慮行動の必要性と重要性を理解して行動する。							
	活動指標名(式)	(1) 環境博覧会来場者数 (2) 出展・協力団体数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 環境博覧会来場者数 (来場者/区人口) (2) (代)出展・協力団体数							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/				
	活動指標(1)	人	15,188	20,000	15,852	20,000							
	活動指標(2)	団体	127	130	117	130							
	成果指標(1)	%	2.90	3.83	2.95	3.72							
	成果指標(2)	団体	127	130	117	130							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,998	10,000	9,883	10,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0							
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0							
	職員数 (常勤   非常勤)	人	2.30   0.28	2.00   0.00	2.21   0.50	1.90   0.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,838	18,280	20,199	17,366						
		非常勤職員分	千円	792	0	1,385	0						
	総事業費 + +	千円	31,628	28,280	31,467	27,366							
	単位あたりコスト( - )÷	円	2,082	1,414	1,985	1,368							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	31,628	28,280	31,467	27,366							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	環境博覧会の開催(ポストイベントを含む)		3	日	9,883								
	その他 ( )				0								

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 509 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	79.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	90.0	19年度予算 執行率%	98.8
		実行委員会に対する分担金は、節減の結果残金がでも、翌年に繰り越すことができないため、できるだけ使い切るような形になっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		実行委員会、作業部会とを通じ、各団体から実施案など積極的にできるようになってきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	19年度までに7回の博覧会を開催してきた。3回目からは区民、企業などとの協働が進んできている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	企画、内容、規模などたいへん充実したものであるとの評価を来場者、協力団体から得ている。					
	今後の予測	20年の先進国首脳会議で環境問題が大きなテーマになることが見込まれており、マスコミ等で取り上げられる機会も多くなると思われる。今後も環境問題の重要性に関心をもつ区民や企業は多くなると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 環境配慮理念の共有化や協働意識の向上に寄与できる事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 会場に足を運ぶきっかけになりうる企画を準備し、来場者が他の出展に接する中で環境配慮行動の重要性が感じ取れるようにしていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 一般参加者(来場者)から入場料を徴収することはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 過去に経費のかかった出展は見直しているが、一方で今日の新たな課題について、参加を要請する場合もあり、それらの出展経費をすべて自己負担させることは理解を得にくい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 博覧会実行委員会を年7回程度、作業部会を4回程度開催し、区民、環境団体、企業とともに企画・運営を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 23年度からは高井戸清掃工場の建て替えが計画されており、高井戸以外での開催の可能性を検討していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高井戸区民センターが使えないと、広場にテントを出すという現行の展示形態はとれない。展示の方法・規模からの検討が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度においては、現行の方式での展示ということになることが見込まれるため。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		省エネ行動の推進			20年度予算コード	4	整理番号	510	枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	230101	昨年度 整理番号	681				
係名	地球温暖化対策担当		連絡先 電話番号	3398-3195						
上位施策名		No	18		環境配慮行動の推進					
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 5 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民、事業者、NPO等団体、行政(区)		(1) 省エネ法 (2) 杉並区住宅用太陽光発電システム機器設置補助金交付要綱 (3) 杉並区雨水貯留槽設置助成金交付要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	平成18年6月策定の「杉並区地域省エネ行動計画」に基づき、区内の二酸化炭素(CO2)排出量削減目標の達成に向け、省エネ行動を推進する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民、事業者、NPO等団体、行政が地域における二酸化炭素排出量削減目標を共有・達成する。						
	活動指標名(式)	(1) 太陽光発電システム機器設置補助件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区年間二酸化炭素(CO2)排出量 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	件	67	75	74	100	100	/		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	kt					1,462			0.0
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	17,189	21,727	17,546	30,521	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	3,420	3,500	3,415	2,300				
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.94   0.90	1.00   0.90	1.22   0.70	1.40   0.50	成果指標(1)の杉並区年間二酸化炭素(CO2)排出量の最新数値は、平成17年の1,693ktである。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,516	9,140	11,151				12,796
		非常勤職員分	千円	2,547	2,493	1,939				1,385
	総事業費 + +	千円	28,252	33,360	30,636	44,702				
	単位あたりコスト( - )÷	円	421,672	444,800	414,000	447,020				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0				0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	28,252	33,360	30,636	44,702				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	太陽光発電システム機器設置補助		74	件	12,519					
	省エネ作戦Webの開設(委託等)				1,915					
	地域省エネルギービジョンの推進に関する調査研究(委託等)				1,500					
	雨水貯留槽設置助成		21	件	852					
	その他 (省エネ懇談会の開催、ポスター作成など)				760					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 510 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.7	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	80.8
		雨水貯留槽設置助成は、予定件数32件に対し21件の助成に留まった。 太陽光発電システム機器設置補助は、予定件数75件に対し74件であったが、1件あたりの補助額が限度額を下回るものが多かった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		省エネ行動の浸透を図るため、省エネ作戦Webの開設、PRポスターの作成、地区町会へのPR活動、我が家の省エネアイデア募集事業を行った。 平成20年度は、省エネ総合相談窓口の開設、省エネ講演会、省エネ作戦Webサイトの機能追加などを行っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年4月1日 世帯数 273,664 人口 510,952 平成20年4月1日 世帯数 290,334 人口 525,583					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	省エネに関しての様々なアイデアが寄せられている。					
	今後の予測	更に家庭などにおける電気消費量は増大する一方、省エネタイプの家電製品も普及していくと予想される。また京都議定書の目標達成年である平成22年度に向け、省エネへの関心が更に高まっていくと考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:地球温暖化が大問題となっている現在、環境配慮行動の推進と省エネ行動の推進とはイコールになるほどの大きなウエイトを占めている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:杉並区地域省エネ行動計画に基づき、具体的な事業を様々な分野で展開していくためには、事業費の増額は必要である。 理由または具体的内容:杉並区地域省エネ行動計画に基づき、具体的な事業を様々な分野で展開していくためには、事業費の増額は必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:太陽光発電システム機器などの補助内容や対象機器等を見直すなど、引き続き効果的な支援のあり方を検討していく必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:補助対象機器の価格動向、普及程度を見極め、補助額の引き下げやより省エネに効果的でコスト性に優れた機器への移行等を検討していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 杉並区地域省エネルギー等懇談会を設置し、区民、NPO等団体、事業者の方々の参加により、省エネ行動の推進に関するより具体的な方策などを検討してもらっている。今後はNPO等団体などとの協力体制を更に密にし、地域に根ざした事業の展開が不可欠である。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 二酸化炭素(CO2)排出量の削減目標達成に向け、杉並地域省エネ行動計画に基づく事業を展開していくうえで、事業費の増額は必要である。一方、省エネ作戦Webを最大限に活用し、あまりコストをかけずに広く区民の方々へ省エネ行動の推進が図れる方策を検討していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関心の無い家庭または若者を中心とした単身世帯への啓発をいかに進めていくかが課題である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 杉並区地域省エネ行動計画に基づき、更なる事業の展開が必要である。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境配慮行動の推進				20年度予算コード	5	整理番号	511	枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	300100		昨年度 整理番号	656・657				
係名	環境活動担当		連絡先 電話番号	3398-3195							
上位施策名		No	18		環境配慮行動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 7					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、環境団体				根拠法令等 (1) 環境基本条例 (2) 環境基本計画 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	1すぎなみ環境カエルくらぶへの活動支援 2環境リーダー養成講座、こども・親子環境教室の開催				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 1多様な行動プランを区民に提供できるようにする 2積極的に環境配慮行動に取り組む区民を数多く創出する。					
	活動指標名(式)	(1) カエルくらぶ事業予算・決算額 (2) 環境学習講座数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) カエルくらぶ会員登録数 (2) リーダー講習修了者数					
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画		22年度		
	活動指標(1)	千円	1,213		1,875		1,276		1,676		
	活動指標(2)	回	23		23		21		16		
	成果指標(1)	人	207		230		217		254	1,700 12.8	
成果指標(2)	人	17		20		10		20			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,357		3,860		3,354		7,677	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0		
	(内) 委託費	千円	1,731		1,986		1,731		5,967		
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.30	0.10	1.00	0.00	1.10	0.00	0.20		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,778		9,140		10,054			1,828
		非常勤職員分	千円	283		0		0			0
	総事業費 + +	千円	15,418		13,000		13,408		9,505		
	単位あたりコスト( - )÷	円	12,711		6,933		10,508		5,671		
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0			0
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	15,418		13,000		13,408		9,505		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	カエルくらぶ活動支援					1,267					
	環境リーダー養成講座(委託)			15	講座	1,344					
	こども・親子環境講座(委託)			6	講座	387					
	我が家の省エネアイデア募集表彰					60					
	その他 ( )					296					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 511 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	68.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	91.3	19年度予算 執行率%	86.9
		カエルくらの事業予算が変更され、補助金額を変更したため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度の計画に基づき、20年度は区は広報掲載・後援名義使用申請処理など限られた事務を行い、事務局機能業務をNPO法人に委託している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	20年にサミットが日本で開催され、特に地球温暖化防止の問題が大きなテーマとして各種報道で取り上げられてきている。地球温暖化等の環境問題を見聞きする機会が以前より多くなっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	親子教室は参加者からは好評であるが、参加の申込が少なく、テーマ、日程などを検証していく必要がある。					
	今後の予測	環境リーダー講習修了者数は累計で170名を超え、新たに環境団体が組織されてくるなど地域で環境配慮行動に取り組む輪が広がっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:環境配慮行動を地域に根ざしたものにすうで、地域の活動やこどもへの知識の普及は重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民が参加しやすい時期、内容などの検証をしていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:保険料や工作材料などの実費徴収なら可能と思われる。それ以上に徴収することはさらに参加申込が減少していくおそれがある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:委託先が協賛団体などと協力していくことで経費を削減していくことにより、委託料の削減につながる可能性はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)20年度よりカエルくらの支援業務を委託し、環境学習とあわせ、NPO法人に委託してより柔軟な対応が可能となるようにしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境学習はひきつづき委託により実施していく。カエルくらへの補助のあり方の見直しを行い、自立を促す。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	カエルくらに対する補助金額を見直す。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ISO14001等の推進			20年度予算コード	8	整理番号	514	枝番号
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	230101	昨年度 整理番号	664			
係名	計画担当		連絡先 電話番号	3705					
上位施策名		No	18		環境配慮行動の推進				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 4 施策番号 18 事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区ISO推進:区(教育機関を除く)及び区職員等 普及啓発:区内事業者等				根拠法令等 (1) 杉並区環境方針 (2) 杉並区環境マネジメントシステム (3) 杉並区環境管理システム構築支援補助金交付要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区がISO14001の認証を取得し、率先して環境配慮行動に取り組むと共に、区内事業者による環境マネジメントシステム構築の支援をする。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 国際規格であるISO14001のシステムに基づき、区及び職員が率先して環境配慮行動に取り組むとともに、事業者による自主的な取り組みを支援することにより、杉並区の地域としての環境配慮行動の推進を図る。			
	活動指標名(式)	(1) 認証取得、定期審査又は更新審査 (2) 環境目的・環境目標の項目数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 主な省エネルギー・省資源の実績による二酸化炭素(CO2)削減率(H11年度比) (2) 区の支援事業により環境マネジメントシステムを構築した事業者数			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(1)	回	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)	件	51	51	51	60	61	83.6	
	成果指標(1)	%	16.0	12.5	13.0	16.1	17.0	76.5	
	成果指標(2)	件	5	8	6	7	7	85.7	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,948	6,980	4,685	4,175	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	1,344	2,608	2,481	1,481			
	職員数(常勤   非常勤)	人	2.16   0.00	2.00   0.00	2.19   0.00	2.00   0.59			
	人件費	千円	19,570	18,280	20,017	18,280			
	非常勤職員分	千円	0	0	0	1,634			
	総事業費 + +	千円	23,518	25,260	24,702	24,089			
	単位あたりコスト( - )÷	円	23,518,000	25,260,000	24,702,000	24,089,000			
	財源	千円	0	0	0	0			
	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0				
特定財源計 +	千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	23,518	25,260	24,702	24,089				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	ISO14001更新審査業務委託		1	件	2,213				
	環境マネジメントシステム(EMS)構築支援補助		6	件	1,581				
	環境マネジメントシステム構築セミナーの開催(自治体イニシアティブプログラム)		1	回	0				
	その他 ( )				891				

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 514 校番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	67.1
		区が予定していた環境マネジメントシステム構築セミナー(自治体イニシャティブ)の開催を、受託者のエコアクション21地域事務局 東京中央が中野区と共催で先行していたため、中野区・杉並区との共同開催として自治体イニシャティブ「なかの・すぎなみエコアクション21導入セミナー」を開催した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区役所環境マネジメントシステムの取り組み結果を、職員自身や区民に、努力した成果をわかりやすく伝えるポスターを18年度から作成している。また、省エネ・省資源のレベルを維持するため、各施設ごとに達成状況を把握し、その結果を区民に対してわかり易くポスターにして同様に周知することで、区の取り組みへの理解と協力を求めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年6月1日からシステムの運用を開始し、同年10月12日にISO14001の認証を取得した。外部審査については、2004年版規格改訂審査・19年度定期審査を受審、規格に基づきシステムが維持管理されていると判定された。省エネ行動については一定の定着は見られるものの使用量は増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	システムの中で、運用等に関する情報の集約を定めており、その中で区の継続した努力や中・長期的な取組を望む意見が寄せられている。反面職員からは、ISO14001に替え、区独自の環境基準を定めたり、区内事業者や区民とともに新基準に沿って活動していくことで、環境負荷を低減するとともに、負荷の少ないまちづくりを目指す、と言う意見もある。					
	今後の予測	引き続き、行政の率先行動として、ISO14001環境マネジメントシステムの継続的改善を図る必要がある。また、地域における環境配慮行動推進の一環として、事業者等の自主的な取組みに対する区の積極的な支援が必要と考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区自らが、環境負荷・環境保全の両面について率先行動として継続的改善に取り組むことにより、区民・事業者の自主的な取組を促進するなど、地域における環境配慮行動の推進に寄与することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ISO14001はシステムの運用管理等であるため、具体的な成果の向上はシステムに関連する個々の事務事業(省エネ設備機器の拡充や緑化推進事業の充実など)に負うところが大きい。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区役所のISO14001の推進については、受益者負担の考え方になじまない。地域におけるシステムの普及は事業者の自主的な取組見に対する行政の支援であり、効果的な支援内容を常に検討する必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 区役所のISO14001の推進については、引き続き、事務の効率化を検討実施する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 行政の率先行動としてISO14001を推進すると共に、区内事業者等による自主的な取組が不可欠である。区は自らを公表することで事業者等の取組を促進し、情報提供や認証取得費用の一部助成など支援策を実施することで、事業者と協働して地域におけるEMSを普及促進していく。中小事業者向けEMSとして、環境省が後押しをしているエコアクション21は、区内NPO法人が認証取得のためのコンサルタント、審査人の役割を担っている。区内事業者のEMS認証取得はこうしたNPO法人と協力して普及に努めていく。また、区長部局のISO14001では、一部研修においてNPO法人に委託を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事務執行の効率化を図りつつ、引き続き、区役所の環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。 区内事業者のEMS認証取得支援については、システムの構築を目指す区内事業者に対する積極的な支援を、対象者数を徐々に増やしながら実施する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 EMSの構築支援についてはPR不足が指摘されていることから、広報、HPや事業者会合などあらゆる機会をとらえて周知を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	地域における環境配慮行動の拡充を図るため、環境マネジメントシステムの構築を目指す区内事業者に対する補助対象者数を順次増やしていく。



# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自然環境の保全			20年度予算コード	3	整理番号	518	枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	300100		昨年度 整理番号	678・679・683			
係名	地球温暖化対策担当		連絡先 電話番号	3398-3195						
上位施策名		No	18		環境配慮行動の推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 6 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 自然環境保全に関心のある区民、団体など		(1) 自然環境保全法 (2) 環境基本法 (3) 東京都における自然の保護と回復に関する条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	委託調査、生き物アンケート調査により「自然環境調査報告書」「河川生物調査報告書」を5年毎に発行する。会報「すぎなみの街と自然」を発行する。杉並環境マップWebを管理・運営する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 生き物の名前や生息地を知り自然を身近に感じ、環境保護の意識を育む。また動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とする。						
	活動指標名(式)	(1) 会報「すぎなみの街と自然」発行回数 (2) 「杉並区自然環境調査報告書」発行部数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 生き物アンケート調査回答回収率 (2) (代) 自然観察会参加人数						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	5	5	5	5	5	100.0		
	活動指標(2)	部		300	300					
	成果指標(1)	%	30.1	60.0	35.6	60.0	60.0	59.3		
	成果指標(2)	人	38	60	49	60	60	81.7		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	11,080	11,065	10,822	1,040	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  平成20年度は、調査委託、報告書の作成等がないため、予算額は激減している。			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	9,872	10,150	10,064	300				
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.00   0.30	1.00   0.30	1.00   0.10	0.40   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	9,140	9,140	3,656			
		非常勤職員分	千円	849	831	277	0			
	総事業費 + +	千円	20,989	21,036	20,239	4,696				
	単位あたりコスト( - )÷	円	4,197,800	4,207,200	4,047,800	939,200				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	20,989	21,036	20,239	4,696				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	「第5次自然環境調査報告書」「すぎなみの生き物たち4」発行(委託等)		1,300	部	8,854					
	水辺環境再生検討調査の実施(委託等)				1,050					
	会報「すぎなみの街と自然」発行(委託等)		5	回	618					
	杉並環境マップWebのデータ整備(委託等)				300					
その他 ( )				0						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 518 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	97.8
		第5次自然環境調査報告書の発行部数を縮小した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成20年度は自然環境調査等の実施がないため、大幅な予算の削減となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区における高等植物の出現種類数 昭和60、61年 776種 平成17、18年 887種					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	杉並区の自然環境調査報告書は、周辺自治体では見られないすばらしいものなので、是非これからも続けて欲しい。					
	今後の予測	自然環境調査・河川生物調査報告書は、区が行う唯一の生物調査であり、その意義は大きい。また区民、専門家にも高い評価を得ており、継続する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 調査報告書は、自然保護を啓発していく上での貴重な指針である。また会報は、区内の身近なテーマを題材としており、自然環境の変化などに関心を持つことにより、施策の実現に十分貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ホームページに掲載している報告書を、さらに広くPRし、調査の意義を訴えていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 報告書は適正な価格で頒布している。また会報は、生き物アンケート調査協力者への配付であり、受益者負担を求めることはできない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 会報等の送付を、可能な人からメールでの送付に切り替えていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 自然環境調査は専門家に委託。報告書作成は企業に委託。 会報の記事作成は、専門家に依頼。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区に生息している動植物を定期的に記録に留めておくことは、区の貴重な財産である。今後も定期的な調査・報告書作成は継続すべきである。5年毎の調査なので年毎にコストの増減がある。またコスト削減のため、会報等の送付を、可能な人からメールでの送付に切り替えていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成21年度は、5年毎の第6次河川生物調査及び報告書の発行の年にあたるため、大幅な予算増となる。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あんさんぶる荻窪の維持運営経費 <small>20年度予算コード</small>			6	整理番号	519	枝番号					
担当部課名	環境清掃部環境課	コード	300100		昨年度 整理番号	680							
係名	地球温暖化対策担当	連絡先 電話番号	3398-3195										
上位施策名		No	18		環境配慮行動の推進								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	6
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設を利用する区民・環境団体・その他団体・事業者など											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区民、団体、事業者などが、環境に関する情報収集、情報交換、政策提言できるよう、環境活動の場の提供や情報発信の場とする。安心、安全な施設づくり											
	活動指標名(式)	(1) 環境学習室の利用回数 (2) 環境団体登録数											
根拠法令等					(1) 杉並区立すぎなみ環境情報館条例 (2) 杉並区立すぎなみ環境情報館条例規則 (3) 杉並区立すぎなみ環境情報館図書等の貸出要綱								
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					環境に関心のある人も無い人も環境情報館を利用し、環境配慮行動に取組む区民を創出する。環境団体等が、講座・講演会などを開催し、環境配慮行動の意識を育てる。								
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					(1) 環境学習室の年間利用率 (2)								

  

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
		実績		計画	実績				
指標	活動指標(1)	回	908	1,000	901	1,000	1,000	90.1	
	活動指標(2)	団体	30	35	33	38	50	66.0	
	成果指標(1)	%	84.5	93.1	83.9	93.1	95.0	88.3	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	26,853	27,941	26,564	27,491	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	23,219	22,657	22,387	20,614			
	職員数 (常勤   非常勤)	人	1.00   0.00	1.00   0.80	1.10   0.70	1.10   0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	9,140	10,054			10,054
		非常勤職員分	千円	0	2,216	1,939			1,385
	総事業費 + +	千円	35,913	39,297	38,557	38,930			
	単位あたりコスト( - )÷	円	39,552	39,297	42,794	38,930			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	35,913	39,297	38,557	38,930			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

  

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	施設維持管理(委託等)				11,124
	環境情報館事業運営(委託)				15,440
	その他 ( )				0

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 519 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	90.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	94.3	19年度予算 執行率%	95.1
		未達の大半は、施設維持管理需用費の残による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委託講座・講演会の回数を若干減らし内容を充実するよう指示し、集客の増が図られた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	あんさんぶる菟窪来館者数 平成16年度 142,185人 平成19年度 215,151人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地球温暖化問題が身近な問題として感じるようになり、環境情報館で実施する講座等に関心が寄せられている。					
	今後の予測	今後さらに環境情報館の果たす役割は重要になってくると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 講座・講演会、環境団体の活動の場の提供により、環境配慮行動の推進に大いに貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 講座および啓発イベントなどの企画内容を魅力あるものにする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 講座等における資料相当は参加者負担としている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 環境情報館に関する業務で、委託化されていない部分について委託化を進める。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 講座・講演会・自然観察会などの開催、貸室業務、受付業務等をNPO法人「すぎなみ環境ネットワーク」に委託。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 講座・講演会などの企画内容を充実させ、また未委託部分の委託化を検討する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託業務の追加による、委託先での人材確保および人件費の算入による事業の増、事務スペースの確保が課題となる。						
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 未委託部分の事業を委託化を検討する。						